

TACHIBANA

橋コース

お散歩コース
知恵と歴史が香る
古代から現代までの



武雄へのアクセス

福岡空港 → 武雄北方IC 車(長崎自動車道 約75分)
九州佐賀国際空港 → 武雄北方IC 車(約60分)
長崎空港 → 武雄北方IC 車(約60分)
JR博多駅 → JR武雄温泉駅 JR佐世保線(約60分)

スタート地点へ

車 武雄北方ICよりから車で約15分
※お車は、「橋公民館」に停めてください。

緊急連絡先

武雄警察署 TEL.0954-22-2144(緊急時:110)
武雄消防署 TEL.0954-23-2151(緊急時:119)

交通機関

JR九州 TEL.0954-23-2009(JR武雄温泉駅)
昭和バス TEL.0955-23-4184
祐徳バス TEL.0954-62-4595
温泉タクシー TEL.0954-23-6161
武雄タクシー TEL.0954-23-1111

お問い合わせ

武雄市 営業部 商工観光課 佐賀県武雄市武雄町昭和12-10
TEL.0954-23-9237
(一財)武雄市観光協会 佐賀県武雄市武雄町昭和805
TEL.0954-23-7766
www.takeo-kk.net

SAGA TAKEO



コース周辺のおすすめスポット



ブランド米
さがびより
特A評価受賞

佐賀の穏やかな気候、肥沃な大地、豊かな水と芳醇な自然の恵みを生かして、農家さんの日々の努力と知恵を重ねてできた「さがびより」。日本穀物検定協会「食味ランキング」で「特A」評価。JR九州クルーズトレイン「ななつ星」での昼食用お米として採用されました。ツヤがよく、粒も大きくもちりとした食感とほのかな甘みと香りがある冷めても美味しい武雄自慢のお米です。

ここがスゴい! 橋町



名産品スポット



営業時間 / 9:00~17:00
TEL.0954-23-2819
http://narusemiso.jp

1 なるせみしょうゆ

旧長崎街道の鳴瀬にて江戸時代より根を営む歴史のある味噌醤油の名店。味噌、醤油だけではなくドレッシングや甘酒など数々の商品を取り扱っております。

史跡スポット



1 西岸寺(さいげんじ)

杵島山は佐賀藩主のお狩場ですが、西岸寺は御休憩場となっていました。客間や殿様専用のトイレなどが今でも大切に保管されており、裏山の掘られた洞穴は冷蔵庫の役目をしていたと言われています。



2 鳴瀬(なるせ)神社

祭神は、イザナギノ命・イザナミノ命・アマオシホミノ命の三柱に、菅原道真・猿田彦命の二柱が合祀されています。長い石段の上に拜殿があり、石造の美しい拜殿が安置されています。



3 梅宮神社

酒解神・橋奈良麩・橋太後の三神で、梅宮神社は、橋氏初代諸兄の母、三千代が創建したものです。15代公業が下向きの時分霊を親請しました。この時、神輿を担いだお供が白布の袴を着て白い鳥の羽をつけていた事が由来となり、この地域を片白(かたじろ)と呼ぶようになりました。



4 菊池経直公墓

菊池家五代菊池経直は橋町の潮見神社の流鏝馬(やぶさめ)に来て落馬し、亡くなりました。夫の菩提を弔った夫人とともに、この地にお墓が建てられました。菊池氏が亡くなったのは、1189年、武雄神社で流鏝馬が始まった時期よりも早いと言われてます。

コースのみどころ

鎌倉時代、橋氏三代による潮見川開削により、町全体が耕作地となった。広大な田畑の風景を堪能できるコース。水と共に歩んできた橋の歴史に触れつつ、橋町が誇るブランド米「さがびより」の季節ごとに育つ風景を楽しみながらのんびり歩いていただけます。

距離 / 5.4km
所要時間 / 約2~2.5時間

- 橋公民館
- 生見石井樋(0.8km)
- 1 三法方石井樋・野越(1.0km)
- 2 納手天満宮(1.6km)
- A かつばの誓文石(2.3km)
- 3 潮見神社中宮(2.8km)
- 4 潮見神社上宮(3.2km)
- 5 奈良麩公墓(4.5km)
- 6 おつぼ山第一水門(4.8km)
- おつぼ山
- 橋公民館

- 観光スポット、施設
- グルメ、ショッピング、体験
- GS ● ガソリンスタンド
- C ● コンビニエンスストア
- P ● 駐車場 T ● トイレ

武雄の新しいウォーキングコース「タケさんぽ」。リボンや矢印を辿りながら、武雄の自然の中を気軽にお散歩するコースです。

- 動きやすい服装・靴で歩きましょう。
- 風景を楽しみながらゆっくりと歩きましょう。
- 車道を歩くときは、車に気をつけて歩きましょう。
- コースから外れた急傾斜地等での危険な行動は控えましょう。
- ゴミのポイ捨ては禁止です。ゴミはすべて持ち帰りましょう。
- 熱中症などにならないよう、水分補給などにも気を配りましょう。体調が悪い時は無理をせずに休みましょう。

掲載している情報は、予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

水の伝説



A かつばの誓文石(かつばのせいもんせき)
潮見川に住み着いたかつば達が襲れないように、潮見神社の宮司さんがかつばを集め、「この石に花が咲くまでおとなしくなさい」と約束を取り交わしたと言われる石です。平成17年、神奈川大学の小馬先生によると、かつば伝説の発祥地は、武雄市橋町だと言われています。1302年淡江水神宮が潮見神社に祀られるようになりましたが、これが全国のかつば伝説のはじまりです。

水と共に歩んできた町



水を分ける技術

1 三法方石井樋(さんぽうがたいしんじょう)
橋地区が米の産地として優れている理由の一つが、六角川の支流である潮見川と東川の利水対策です。1600年代はじめに、成富兵庫は潮見川をため池として、下流域の田を開墾しました。この時は、洪水対策として「野越」と言われる水の流れを造りました。

2 納手(のつて)天満宮
雷・洪水防止の天神様からなる天満宮で、はじめは水の神様として祀られていましたが、現在は菅原道真を祀る学問の神様です。天満宮内には、中国の道教の教えに由来する庚申塔、猿田彦、青面金剛が置かれています。

3 4 潮見神社(しおみじんじや)
上宮には、イザナギ命、イザナミ命が祀られています。裏手の潮見山はお城の跡です。鎌倉時代から戦国時代末期まで、淡江氏が活躍していた事が、古文書等に出てきます。

5 奈良麩公墓(ならもちこうぼ)
奈良麩公は、橋氏初代諸兄の長男です。757年に「奈良麩の乱」を起こしたという記録が続日本紀に残っており、この乱で殺された皇太子「道祖王」(ふなどおう)の分霊を持って、奈良麩がこの地に來たと言われています。

グルメスポット
2 末廣館(すえひろすし)
橋町で唯一の本格寿司店。
営業時間 / 11:30~22:00
TEL.0954-23-6789



B おつぼ山神籬石(おつぼやまごころいし) 国指定史跡
全国で23か所しか確認されていない古代山城の一つで、飛鳥~奈良時代頃の日本の政権が大陸からの侵攻に備えて造らせたと推定されます。東京ドーム5.5倍以上ある城域には、四角い石の並び(列石)を特徴とする城壁が約1.8kmに渡って続いています。